

様式（評価機構フォーマット版）

令和5年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和6年4月30日

学校法人国際志学園 九州CTB理容美容専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価	1	基準5 学生支援.....	26
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	26
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	28
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	29
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	31
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	34
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	35
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	37
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	37
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	39
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	41
3-8 目標の設定.....	11	基準7 学生の募集と受入れ.....	42
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	42
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	7-26 入学選考.....	43
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	17	7-27 学納金.....	44
3-12 教員・教員組織.....	19	基準8 財務.....	45
基準4 学修成果.....	21	8-28 財務基盤.....	45
4-13 就職率.....	21	8-29 予算・収支計画.....	46
4-14 資格・免許の取得率.....	23	8-30 監査.....	47
4-15 卒業生の社会的評価.....	25	8-31 財務情報の公開.....	48

基準 9 法令等の遵守	49
9-32 関係法令、設置基準等の遵守	49
9-33 個人情報保護.....	50
9-34 学校評価.....	51
9-35 教育情報の公開	52
基準 10 社会貢献・地域貢献	53
10-36 社会貢献・地域貢献	53
10-37 ボランティア活動.....	54

評定の基準)

評定 4 = 適切 (実施率 = 100%)

評定 3 = ほぼ適切 (実施率 = 50%以上 100%未満)

評定 2 = やや不適切 (実施率 = 25%以上 50%未満)

評定 1 = 不適切 (実施率 = 25%未満)

基準	小項目	記載責任者	平均評定	各学科評定		
				評定	理容	美容
基準1 教育理念・目的・育人人材像	1-1 理念・目的・育人人材像	学校長	4.0	4.0		
基準2 学校運営	2-2 運営方針	学校長	4.0	4.0		
	2-3 事業計画	学校長		4.0		
	2-4 運営組織	学校長		4.0		
	2-5 人事・給与制度	学校長		4.0		
	2-6 意思決定システム	学校長		4.0		
	2-7 情報システム	IT事業部長		4.0		
基準	小項目	記載責任者	平均評定	各学科評定		
				評定	理容	美容
基準3 教育活動	3-8 目標の設定	学科長	3.4	4.0	4	4
	3-9 教育方法・評価等	学科長		3.0	3	3
	3-10 成績評価・単位認定等	学科長		3.0	3	3
	3-11 資格・免許の取得の指導体制	学科長		3.5	4	3
	3-12 教員・教員組織	学科長		3.5	4	3
	基準4 学修成果	4-13 就職率		学科長	3.3	4.0
4-14 資格・免許の取得率		学科長	3.0	3		3
4-15 卒業生の社会的評価		学科長	3.0	3		3
基準5 学生支援	5-16 就職等進路	学科長	3.3	4.0	4	4
	5-17 中途退学への対応	学科長		3.0	3	3
	5-18 学生相談	学科長		2.5	3	2
	5-19 学生生活	学生部長		4.0		
	5-20 保護者との連携	学科長		3.0	3	3
	5-21 卒業生・社会人	学科長		3.0	3	3
基準6 教育環境	6-22 施設・設備等	学科長	3.8	4.0	4	4
	6-23 学外実習、インターンシップ等	学科長		3.5	3	4
	6-24 防災・安全管理	学生部長		4.0		
基準7 学生の募集と受入れ	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか	広報部長	3.7	4.0		
	7-26 入学選考	学生部長		4.0		
	7-27 学納金	学生部長		3.0		
基準8 財務	8-28 財務基盤	事務局長	4.0	4.0		
	8-29 予算・収支計画	事務局長		4.0		
	8-30 監査	事務局長		4.0		
	8-31 財務情報の公開	事務局長		4.0		
基準9 法令等の遵守	9-32 関係法令、設置基準等の遵守	事務局長	4.0	4.0		
	9-33 個人情報保護	事務局長		4.0		
	9-34 学校評価	副校長		4.0		
	9-35 教育情報の公開	副校長		4.0		
基準10 社会貢献・地域貢献	10-36 社会貢献・地域貢献	副校長	3.0	3.0		
	10-37 ボランティア活動	副校長		3.0		

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和5年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>「才色健美」</p> <p>優れた才能を開花させ、健やかにそして美しくあれ。</p> <p>理容・美容・ビューティー・メンタルの技術を通して、“カッコいい”を創造し、社会に貢献できるトータル人財の育成を行う。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教員の指導力向上を目的とした研修会の実施 2. 地域と連携し、各種イベント等への積極的な参加 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 本校に高等学校校長を招き、いろいろな個性を持つ学生に対する指導方法についての研修を実施した。 2. 北九州市内で開催されたイベントに参加した。 	<p>特になし</p>

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>お客様の“カッコいい”を追求することはもとより、自分自身も“カッコいい”を意識した日常生活を送る。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念に基づいた「才色健美」を目指す。	日ごろから“カッコいい”を意識した生活を送る。	特になし	学生便覧
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	各学科で関連業界等が求める人材ニーズに適合させる。	各学科の関連業界団体役職者をはじめ、業界の職業現場で業務に従事する方を本校に招き、関連業界団体が求める人材ニーズを模索する。	特になし	教育課程編成委員会議事録
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	身体面やメンタル面の健康を基盤として、容貌や容姿を整える。	理美容にかかる職業教育にとどまらず、身体面やメンタル面の健康づくりに必要な教育も採用する。	特になし	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	社会のニーズの移り変わりに敏感になるとともに、未来の理美容業界を模索する。	運営管理等の授業において将来構想について考える機会を設ける。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
単なる理美容職業教育にとどまらず、こころとからだの健康についても考えて、からだの内面から「カッコよく」また「美しく」することができる職業教育を目指す。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

基準2 学校運営 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>1. 朝礼において情報共有の徹底を図る。</p> <p>2. 学科会議や学内会議において課題を抽出するとともに対策を講じていく。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	常に理念を意識し、運営方針を文書化して教職員への周知徹底を図る。	理念や運営方針等を記載したスタンダードブックを教職員に配付。	特になし	スタンダードブック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念にとどまらず、法人の理念も周知して、理念に沿った行動ができるように努めている。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	短期・中期の計画を策定。執行体制や職務分担等を明確にする。	短期・中期の計画を策定するとともに、組織図や職務分担表を作成している。	特になし	短期・中期計画 組織図 職務分担表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	適切に理事会および評議員会を開催し、組織運営のための審議を行う。また適宜、寄附行為の改正を行う。	定例の理事会・評議員会の開催および寄附行為の変更および登記手続きを行っている。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録 学則
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営に必要な事務および教学組織を整備する。 必要な委員会組織等会議体を整備する。	学校運営や教学の状況を共有するために、月に一度、学内会議を開催している。	特になし	学内会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>規程や規則等を作成し、なおかつ必要に応じて更新していくようにしている。 理事会や評議委員会等も定期的を開催し、滞りなく行っている。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用計画、昇任昇級基準を明確化し、適切な人事考課を行う。	適切な評価を行うため、評価基準に加え、個別面談の機会を取り入れている。	特になし	就業規則 給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものへと更新している。	外部コンサルタントと評価制度について策定中。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	教務・財務等の意思決定の権限を規程・規則等で明確化する。	全ての事項において、書面で意思決定ができるように稟議等の回付を行っている。	特になし	報連相シート 稟議書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務にかかる意思決定システムは構築されているものの、これを規程や規則においてさらに詳細に規定する必要がある。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	情報管理システムを構築して、 業務の効率化を図る。	情報システムについては業務 に支障を来さない限り、現行制 度を継続する。教職員のPCは 来年度に入れ替えを行う。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

基準 3 教育活動 【平均評定：3.4】

3-8 (1/1)

3-8 目標の設定

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に沿った方針を明確にしている。	教育課程編成委員会の実施と編成内容を教員間で共有しカリキュラムの工夫に役立っている。	なし	教育課程編成委員会議事録 シラバス 学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	修業年限相応の到達目標を明確にしている。	教育到達目標に相違しないよう、授業を構築している。	学生個々の習熟度の差を関係職員の共有度を高める必要があるため、定期的なディスカッションを計画している。	理容科年間スケジュール

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に沿い、国家試験合格、資格取得、技術力向上を旨として各学生の習熟度到大差をつけることが無いよう、教員間の教育的連携の強い構築と学生とのコミュニケーションの強固に努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	理念に沿った方針を明確にしている。	教育課程編成委員会の実施と編成内容を教員間で共有しカリキュラムの工夫に役立っている。	なし	教育課程編成委員会議事録 シラバス 学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	修業年限相応の到達目標を明確にしている。	教育到達目標に相違しないよう、授業を構築している。	学生個々の習熟度の差を関係職員の共有度を高める必要があるため、定期的なディスカッションを計画している。	美容科年間スケジュール

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念に沿い、国家試験合格、資格取得、技術力向上を旨として各学生の習熟度に大差をつけることが無いよう、教員間の教育的連携の強い構築と学生とのコミュニケーションの強固に努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

3-9 教育方法・評価等

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	理容科の学科会議にて、適宜方針・目標を制定している。	各課題の進捗状況を科の職員間で共有し、指導内容の格差が無いように努めている。	なし	理容科学科会議議事録
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会を実施し、前進的なディスカッションを行っている。	現場に従事する教育課程編成委員の意見に耳を傾け、実習内容の向上に役立てている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	理容業界との情報共有や美容従事者と交流を通じて、卒業後の実生活が円滑に進むよう、教育活動に努めている。	実務実習、サロン見学の実施と企画を行っている。	卒業生との交流の機会を増やしたい。実施法を勘案中である。	実務実習実施要項
3-9-4 授業評価を実施しているか	各学生の習熟度に差が生じることが無いよう、理解度を数値化し、国家試験に合格できるデータ収集を実施する。	習熟度を数値化し、授業・実習の参加実績等も含めた記録を4段階で示し成績評価としている。	学生の生活指導に焦点をあて更なる改善を図りたい。全校集会の内容についてレベルアップさせる。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界において必要とされる人材を育成するために、国家試験の合格は当然のことながら、業界のルール、マナーの基礎的知識を高めさせる指導教育に力を入れている。	進路活動の時間において、ガイダンスを活用し多くのサロン従事者との交流を深めてもらうよう、ガイダンス内容を工夫している。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	美容科の科別会議にて、適宜方針・目標を制定している。	各課題の進捗状況を科の職員間で共有し、指導内容の格差が無いように努めている。	なし	美容科学科会議議事録
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	教育課程編成委員会を実施し、前進的なディスカッションを行っている。	現場に従事する教育課程編成委員の意見に耳を傾け、実習内容の向上に役立っている。	なし	教育課程編成委員会議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	美容業界との情報共有や美容従事者と交流を通じて、卒業後の実生活が円滑に進むよう、教育活動に努めている。	実務実習、サロン見学の実施と企画を行っている。	卒業生との交流の機会を増やしたい。実施法を勘案中である。	実務実習実施要項
3-9-4 授業評価を実施しているか	各学生の習熟度に差が生じることが無いよう、理解度を数値化し、国家試験に合格できるデータ収集を実施する。	習熟度を数値化し、授業・実習の参加実績等も含めた記録を4段階で示し成績評価としている。	学生の生活指導に焦点をあて更なる改善を図りたい。全校集会の内容についてレベルアップさせる。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
業界において必要とされる人材を育成するために、国家試験の合格は当然のことながら、業界のルール、マナーの基礎的知識を高めさせる指導教育に力を入れている。	進路活動の時間において、ガイダンスを活用し多くのサロン従事者との交流を深めてもらうよう、ガイダンス内容を工夫している。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

3-10 成績評価・単位認定等

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	国家試験合格を第一目標として、座学、実習の習熟度を数値化し、優・良・可・不可の4段階に振り分け評価している。	座学は定期試験を実施している。実習は年に3回以上の技術試験を実施している。	習熟度の差が出やすい。	学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	習得した技術レベルを学生個人が理解・実感できることを目標としている。	校内技術競技会とヘアショーの実施。	マンネリ化を避けるための実施と企画運営の工夫。理美容会議の積極的な活用でアイデアを収集する。	校内技術競技会実施要項 ヘアショー実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学力は数値化しやすいが、技術力、デザイン力は定められた基準では測れない部分もあるため、作品発表と競技という形で学生個人が現状把握に努め、一層の錬磨につながるよう努めていきたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	国家試験合格を第一目標として、座学、実習の習熟度を数値化し、優・良・可・不可の4段階に振り分け評価している。	座学は定期試験を実施している。実習は年に3回以上の技術試験を実施している。	習熟度の差が出やすい。	学生便覧
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	習得した技術レベルを学生個人が理解・実感できることを目標としている。	校内技術競技会とヘアショーの実施。	マンネリ化を避けるための実施と企画運営の工夫。理美容会議の積極的な活用でアイデアを収集する。	校内技術競技会実施要項 ヘアショー実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学力は数値化しやすいが、技術力、デザイン力は定められた基準では測れない部分もあるため、作品発表と競技という形で学生個人が現状把握に努め、一層の錬磨につながるよう努めていきたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	国家試験取得は実務において必要不可欠のものであるという事実に基づいて、目標設定と方針を明確にしている。	国家試験日に備え、技術指導と座学の模擬試験を徹底して実施している。	習熟度の差を生じさせないこと。	国家試験模擬試験実施要項 年間スケジュール
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	団体指導と個別指導を明確に分け場合に応じて取り組んでいる。	実技・筆記ともに細かい小テストの結果に基づき個別指導の活用を実施している。	習熟度の差を生じさせないこと。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験及び、各種資格試験については一定の審査基準に基づいたレベルの確保が前提としている為、多くの小テスト、審査を繰り返し学生の合格力を強くしていく。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	国家試験取得は実務において必要不可欠のものであるという事実に基づいて、目標設定と方針を明確にしている。	国家試験日に備え、技術指導と座学の模擬試験を徹底して実施している。	習熟度の差を生じさせないこと。	国家試験模擬試験実施要項 年間スケジュール
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	団体指導と個別指導を明確に分け場合に応じて取り組んでいる。	実技・筆記ともに細かい小テストの結果に基づき個別指導の活用を実施している。	習熟度の差を生じさせないこと。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
国家試験及び、各種資格試験については一定の審査基準に基づいたレベルの確保が前提としている為、多くの小テスト、審査を繰り返し学生の合格力を強くしていく。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

3-12 教員・教員組織

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学生数にあった資格要件を満たす教員・講師を確保するよう努めている。	学生の在籍数に合わせ、校長に指示を仰いだうえ新着職員の確保活動を行っている。	なし	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	各教員の専門教科を認識してもらい、指導内容と各自の知識向上を目指し、積極的なアップデートを推進している。	学生アンケートの運用と教員間の定期的な勉強会を実施している。	なし	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員各自の担当強化を明確にし、進路指導、学生指導等選任を明確にしている。	校長の指示に基づき組織図を明示し各教員の任務を明確にしている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標と教育課程に沿った教員と講師の確保に努め、各教員、講師の資質向上を目的とした研修会や勉強会等の企画と情報共有に努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	学生数にあった資格要件を満たす教員・講師を確保するよう努めている。	学生の在籍数に合わせ、校長に指示を仰いだうえ新着職員の確保活動を行っている。	なし	
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	各教員の専門教科を認識してもらい、指導内容と各自の知識向上を目指し、積極的なアップデートを推進している。	学生アンケートの運用と教員間の定期的な勉強会を実施している。	なし	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員各自の担当強化を明確にし、進路指導、学生指導等選任を明確にしている。	校長の指示に基づき組織図を明示し各教員の任務を明確にしている。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標と教育課程に沿った教員と講師の確保に努め、各教員、講師の資質向上を目的とした研修会や勉強会等の企画と情報共有に努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

基準 4 学修成果 【平均評定：3.3】

4-13 (1/1)

4-13 就職率

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	各学生が目標とする業界に就職できるように相応のスキルが身に付けられる指導を行っている。	ガイダンスの参加を行い、選択授業を実施し国家試験の課題以外の技術等を学べる環境を作っている。	なし	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
多様化する美容業界のニーズに応えられるよう、国家試験の知識を基に幅広くスキルアップできる指導体制を確保している。	選択授業の実施。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	各学生が目標とする業界に就職できるように相応のスキルが身に付けられる指導を行っている。	ガイダンスの参加を行い、選択授業を実施し国家試験の課題以外の技術等を学べる環境を作っている。	なし	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
多様化する美容業界のニーズに応えられるよう、国家試験の知識を基に幅広くスキルアップできる指導体制を確保している。	選択授業の実施。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

4-14 資格・免許の取得率

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験合格 100%を目標とし、多様化する理容業界に対応できる資格取得を目指している。	国家試験については対策授業を実施している。またネイル資格の取得に向けて担当教員と連携している。	資格取得の幅をさらに広めるため現状の実習内容に特化した資格取得制度を確立したい。	年間授業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の希望に沿った学びの場を提供するとともに、理容業界で求められる人材の育成に応えるために、国家試験は当然のことながら、多様な資格取得の場を提供できるよう努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験 100%を目標とし、多様化する美容業界に対応できる資格取得を目指している。	国家試験については対策授業を実施している。またネイル資格の取得に向けて担当教員と連携している。	資格取得の幅をさらに広めるため現状の実習内容に特化した資格取得制度を確立したい。	年間授業計画

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の希望に沿った学びの場を提供するとともに、美容業界で求められる人材の育成に応えるために、国家試験は当然のことながら、美容に関する多様な資格取得の場を提供できるよう努めている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

4-15 卒業生の社会的評価

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の現状を知ること、在校生と学校の交流が深まるので積極的に現状把握に努めている。	実務実習と就職ガイダンスの企画を通じて卒業生と情報交換を行っている。	なし	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
北九州市に根付いた九州 CTB 理容美容専門学校の教育活動が永続的に本校の活動に反映されるよう積極的な業界との連携が求められている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	卒業生の現状を知ること、在校生と学校の交流が深まるので積極的に現状把握に努めている。	実務実習と就職ガイダンスの企画を通じて卒業生と情報交換を行っている。	なし	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
北九州市に根付いた九州 CTB 理容美容専門学校の教育活動が永続的に本校の活動に反映されるよう積極的な業界との連携が求められている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

基準 5 学生支援 【平均評定：3.3】

5-16 (1/1)

5-16 就職等進路

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職ガイダンスイベントへの積極的参加を行っている。	年度により異なるが、就職支援団体の企画するガイダンスイベントの参加と研修を実施している。	理容室以外にシェービングサロン、ネイルサロン等の就職希望者が一定数存在するため理容室以外の就職情報を増やす必要がある。	ガイダンスイベント参加の実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理容師免許を取得する必要がある職種として女性理容師の領域であるレディースシェービングの技術も挙げられるため、レディースシェービングサロン従事希望者のため、レディースシェービングサロンの情報を提供できるよう改善をはかりたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職ガイダンスイベントへの積極的参加を行っている。	年度により異なるが、就職支援団体の企画するガイダンスイベントの参加と研修を実施している。	美容師以外にアイリスト、ネイリスト等の就職希望者が一定数存在するため美容師以外の就職情報を増やす必要がある。	ガイダンスイベント参加の実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容師免許を取得する必要がある職種として美容師は当然のことながら、まつげエクステーション（まつエク）の技術者も挙げられるため、まつエクの従事希望者のため、まつエクサロンの情報を提供できるよう改善をはかりたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔子
--------	-----------	-------	----------

5-17 中途退学への対応

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の要因と傾向を把握するために、担任による細かいクラス報告と学生面談を行い、退学者0を目指す。	担任による学生との個人面談の実施。理容科学科会議におけるクラス報告での情報共有。	担任一人に任せきりとなるような状況を作らず、学生が多くの教員に相談できる場を提供する必要がある。	理容学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学者の対策は初動対策が要なので早期対応をもって全員卒業できるよう対策を練っていく。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学の要因と傾向を把握するために、担任による細かいクラス報告と学生面談を行い、退学者0を目指す。	担任による学生との個人面談の実施。美容科学科会議におけるクラス報告での情報共有。	担任一人に任せきりとなるような状況を作らず、学生が多くの教員に相談できる場を提供する必要がある。	学科会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
中途退学者の対策は初動対策が要なので早期対応をもって全員卒業できるよう対策を練っていく。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

5-18 学生相談

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任教員のクラス報告を義務付け、問題解決に際しては関係職員全員で対応する。	担任、学科長、関係職員の連携のなか個別面談を通して相談の対応にあたっている。	学生は相談事があっても、なかなか自分から言い出すことができないため、普段から学生との関係性の構築が必須である。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談の環境を整えるために、担任にはクラス内のコミュニケーションを積極的にとってもらい、しかし、担任まかせにしないよう常に、科の職員間で連携を図り、教員が学生一人一人に目を配ることのできる環境整備を行っている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任教員のクラス報告を義務付け、問題解決に際しては関係職員全員で対応する。	担任、学科長、関係職員の連携のなか個別面談を通して相談の対応にあたっている。	学生は相談事があっても、なかなか自分から言い出すことができないため、普段から学生との関係性の構築が必須である。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか				

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生相談の環境を整えるために、担任にはクラス内のコミュニケーションを積極的にとってもらい、しかし、担任まかせにしないよう常に、科の職員間で連携を図り、教員が学生一人一人に目を配ることのできる環境整備を行っている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生の家庭環境に応じた学費納入方法を検討していく	日本学生支援機構奨学金貸与に関しては必要以上の借入金にならぬよう面談を通して啓を図っていく	学生が相談しやすい体制を整える	
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学びの原点は健康なる学生生活と考える	毎年6月前後に全校生を対象として健診センターによる健康診断を実地している	毎年数名が再検診が必要となる。その都度、再受診を行っている。	
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	ほぼ全員が自宅通学となっている。	不動産屋と学生寮契約を締結。要望があれば入寮などの支援を行っていく	特になし	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	各学生の習熟度に応じた個別指導	学内競技大会・理美容甲子園大会などを通じて個人技量の向上を図る	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
在校生の中で母子家庭の割合が25%とかなりの人数が占めている。日本学生支援機構給付型奨学金などの公的機関による助成の活用していく。	特になし

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	奨学金制度の活用を勧めている。	全学生の7割が何らかの奨学金を利用している。	奨学金の利用にあたっては、対象学生の学校生活状況が奨学金利用の継続に影響するため学生指導の徹底が必要である。	学生便覧
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	健康診断の企画準備を行っている。	毎年健康診断を実施している。	なし	健康診断実施要項
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	なし	なし	なし	なし
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	実務実習として実際のサロン現場に従事する機会を設けている。	例年、60 時間以上実施している。	なし	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生がどのような生活環境にあっても、平等に学びの環境が提供できるよう、奨学金の活用と、補講や追試などが発生しないように学業状況の管理把握を徹底している。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	奨学金制度の活用を勧めている。	全学生の7割が何らかの奨学金を利用している。	奨学金の利用にあたっては、対象学生の学校生活状況が奨学金利用の継続に影響するため学生指導の徹底が必要である。	学生便覧
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	健康診断の企画準備を行っている。	毎年健康診断を実施している。	なし	健康診断実施要項
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	なし	なし	なし	なし
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	実務実習として実際のサロン現場に従事する機会を設けている。	例年、60時間以上実施している。	なし	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生がどのような生活環境にあっても、平等に学びの環境が提供できるよう、奨学金の活用と、補講や追試とうが発生しないように学業状況の管理把握を徹底している。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

5-20 保護者との連携

理容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	教育活動は学生、教員、家庭の連携のうに成り立つと理解し積極的に保護者と情報共有していくよう努めている。	学校生活に支障、問題が発生した際には早急に連絡している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連携をもって学生の円滑な学校生活の維持があるため、教員間で情報共有の徹底はもちろんのこと、保護者に安心してもらえる学校、クラス運営を行っている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	教育活動は学生、教員、家庭の連携のうに成り立つと理解し積極的に保護者と情報共有していくよう努めている。	学校生活に支障、問題が発生した際には早急に連絡している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者との連携をもって学生の円滑な学校生活の維持があるため、教員間で情報共有の徹底はもちろんのこと、保護者に安心してもらえる学校、クラス運営を行っている。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

5-21 卒業生・社会人

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	信科習得者過程を設置し、美容師免許が理容の資格を取得できるダブルライセンス制度を運営している。	ダブルライセンス制度を活用し、理容科卒業生が美容師免許を取得することができた。	なし	学生便覧
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	なし	なし	なし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	通信課程を設置し、社会人が仕事を続けながら美容師免許を取得できるよう環境を整えている。	通信課程一般の部が現在在籍中である。	通信課程の登校頻度は昼間過程に比べ少ないので技術レベルの維持が課題である。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理容科は卒業生が、さらに美容師免許の取得を目指せるよう、また社会人が仕事をもって通学しながら美容師免許を取得できるように教育環境の整備と確立を行っている	他校での通信課程は、理容室での就職が義務付けられているが、本校ではその限りではない。このことによって美容師免許取得を希望する社会人が現在の生活サイクルを崩すことなく資格取得に取り組むことが

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	通信科習得者過程を設置し、理容師免許が取得できるダブルライセンス制度を運営している。	ダブルライセンス制度を活用し、美容科卒業生が理容師免許を取得することができた。	なし	学生便覧
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	なし	なし	なし	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	通信課程を設置し、社会人が仕事を続けながら美容師免許を取得できるよう環境を整えている。	通信課程一般の部が現在在籍中である。	通信課程の登校頻度は昼間過程に比べ少ないので技術レベルの維持が課題である。	学生便覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
美容科は卒業生が、さらに理容師免許の取得を目指せるよう、また社会人が仕事をもって通学しながら美容師免許を取得できるように教育環境の整備と確立を行っている。	他校での通信課程は、美容室での就職が義務付けられているが、本校ではその限りではない。このことによって美容師免許取得を希望する社会人が現在の生活サイクルを崩すことなく資格取得に取り組むことができる。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷孔平
--------	-----------	-------	----------

基準 6 教育環境 【平均評定：3.8】

6-22 (1/1)

6-22 施設・設備等

理容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	定員数に満たした機材、用具類の整備を行っている。	学生が互いにモデルになり実技練習ができるよう、機材の不足はない。用具類の不足・不備も感じられない。	シャンプー台が旧方式の練習しかできない。新方式の練習を行うためには改善が必要である。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設、設備、教材については現状、特に問題は感じられない。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	定員数に満たした機材、用具類の整備を行っている。	学生が互いにモデルになり実技練習ができるよう、機材の不足はない。用具類の不足・不備も感じられない。	シャンプー台が旧方式の練習しかできない。新方式の練習を行うためには改善が必要である。	シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
施設、設備、教材については現状、特に問題は感じられない。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

6-23 学外実習、インターンシップ等

理容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実務実習を実施し、サロン現場の実情に理解を深める指導を行っている。	在学期間中に 120 時間以上の実務実習を行っている。	事前指導の工夫が必要である。実務につく上での社会的マナーの指導にもう少し目を向ける必要がある。	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実務実習は進路活動及び卒業後の実務が円滑に行えるよう支援するための指導であるから、現場の理容師と密に連携し中身のある実習活動が行えるよう努めていきたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 向井美香
--------	-----------	-------	----------

美容科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	実務実習を実施し、サロン現場の実情に理解を深める指導を行っている、	在学期間中に 120 時間以上の実務実習を行っている。	事前指導の工夫が必要である。実務につく上での社会的マナーの指導にもう少し目を向ける必要がある。	実務実習実施要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
実務実習は進路活動及び卒業後の実務が円滑に行えるよう支援するための指導であるから、現場の美容師と密に連携し中身のある実習活動が行えるよう努めていきたい。	なし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 大谷 孔平
--------	-----------	-------	-----------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	学生・教職員の安全確保を最優先事項と考える。	八幡駅前開発(株)と連携して消防訓練を実地している。新入生オリエンテーション開催時に火災発生時の非常階段、避難通路について説明する	校舎内給湯室にはガスコンロ設置していない。電気ポット・レンジは退社時に全ての電気系統を遮断している。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画・防災訓練マニュアル作成	学生の生命を加害者から守るための防犯体制を整備し適切に行う	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
常日頃より防火意識を持って校内設備の状況を確認して不測の事態が発生しないよう努めていく。教職員の防火・安全意識の向上に努める。	特になし

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学生部長 大森 廣喜

基準 7 学生の募集と受入れ 【平均評定：3.7】

7-25 (1/1)

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育活動や育成する人材像を高等学校等に情報をお伝えする。	感染症対策への意識を継続して活動をしている為に必ず訪問時は許可を頂く様にして訪問の実施を継続している	入学時の案内だけでなく、卒業後の様子が分かる冊子の作成を行っている	報告書
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	専各協会の方針に沿った案内を行っている。	明確な記載がある資料の配布をしている。	Web 出願手続き、県外入試の実施計画を行い、受験生が良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。	報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>これまでに行ってきた学生募集を継続して行っていく。 高校訪問、オープンキャンパス、出張講義等の開催、参加を実施して行く。 また、コロナ禍では実施が出来なかったイベントの開催を積極的に行い、より多くの方に業界を知って頂く取り組みも行う。</p>	<p>Web 出願手続き及び県外入試の実施計画を行い、受験生がより良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。</p>

最終更新日付	令和 6 年 3 月 3 1 日	記載責任者	広報部長 大庭 俊輔
---------------	------------------	--------------	------------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	多くの学生が入学試験を受験できるよう柔軟な選考基準を募集要項に記載している。	高校生対象とした AO・指定校推薦・学校長推薦入試を実地して幅広く門戸を開放している。	受験生の要望に応じたの随時入学試験の実地	募集要項
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	面接試験に重きを置いた人物本位の選考基準としている	面接試験官は複数で対応している	出身高校調査書記載内容について具体的な質問に限界がある	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
こうめいせいだいなる入学試験を行っていく	特になし

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学生部長 大森 廣喜
--------	-----------	-------	------------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容に対応した学納金の算定を行う。	経費内容に対応した学納金の算定に近づけている。	特になし	募集要項
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱いを行っているか	入学金・授業料等は学校運営に置いて、非常に重要な収入となっている。	入学式前月末までの入学辞退者に対しては、法令順守の観点から入学金のみ返金に応じていく。	入学手続きに関しては募集要項に記載されている内容にて対処していく	募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
分割契約で入学手続き完了者に対しては個別面談にて対応することとなる。	特になし

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学生部長 大森 廣喜

基準 8 財 務 【平均評定：4.0】

8-28 (1/1)

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	定員充足率の推移を把握し、収支のバランスをとり、中長期的な財政基盤の安定を図る。	現状は安定している。	特になし	
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	直近 3 年間の財産目録・貸借対照表の数値によって、財務の分析を行う。	外部コンサルタントを含めて分析を行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
核施設団体等に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題であると認識している。	ガイダンスへの教員派遣やオープンキャンパスの開催など、積極的な広報活動の実施によって入学者が増加傾向にある。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図る。	整合性を図っている。	特になし	中期計画 事業計画 予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算の執行計画を策定するとともに、適正に予算を執行するためのチェック体制を整備する。	会計士を含めて毎月のチェックを行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また補正予算案等も発表し、確認を試みている。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施する。監査報告書を作成し、理事会に報告する。	適切に実施している。	特になし	監事監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事による監査はもちろんのこと、会計士とも連携を図り、定期的に状況報告と確認を行っている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程を整備し、公開が義務づけられている事項について、ホームページ等で適切に公開する。	適切に運用している。	特になし	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提に作成していく。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
--------	-----------	-------	---------

基準 9 法令等の遵守 【平均評定：4.0】

9-32 (1/1)

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令および設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届を行う。	適切に行っている。	特になし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守を第一義に、規程・規則について必要に応じて適宜整備を図っている。規程・規則についてはさらに整備を図る必要があると考える。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 西田真紀
---------------	-----------	--------------	---------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護に関する取扱い方針、規程を定め、適切に運用する。	適切に行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については、規程に基づいて徹底した管理を行っている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 西田真紀

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	毎年度各部署において自己評価を実施し、学校関係者評価委員会において評価頂く。	各部署において事業年度ごとに自己評価を行い、課題を見出して改善を図る。	PDCA サイクルを活用して前年度の課題に対する取組みの見直しを図っている。	自己点検・自己評価に関する規程 学校関係者評価委員会に関する規程
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価報告書の完成とともに、速やかに本校ホームページ上において公開する。	自己評価報告書の完成とともに、速やかに本校ホームページ上において公開している。	特になし	本校ホームページ「情報公開」 自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会を組織し、同委員会において自己評価報告書の評価を頂くとともに改善点を見出す。	自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会において改善点等について提起して頂いている。	学校関係者評価委員会において提起がなされた改善点について、優先順位の高いものから順次対応している。	学校関係者評価委員会報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、これを本校ホームページ上において公開する。	学校関係者評価委員会報告書を本校ホームページ上において公開している。	特になし	本校ホームページ 学校関係者評価委員会報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年6月に学校関係者評価委員会を開催し、自己評価報告書をもとに評価頂くとともに改善点等について提起事項を報告頂いている。 委員会における評価や改善点等については学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、本校ホームページ上において公開している。	本校ホームページの閲覧者が必要とする情報について、きめの細かい公開に努めている。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報について、可能な限り本校ホームページ上において公開する。	本校ホームページ「情報公開」に取りまとめるかたちで、教育情報について公開している。	特になし	本校ホームページ「情報公開」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育情報として「教育理念」「教育目標」「専門学校における情報提供等への取組みに関するガイドラインの項目に対する本校の情報提供内容」「新法省令確認申請書」「シラバス」「成績管理の実施及び卒業認定について」「職業実践専門課程認定学科における基本情報」「教員名簿」「授業実施計画」「学校行事・課外活動」等について、本校ホームページ上において公開している。	法省令等による情報公開はもとより、より透明性の高い情報公開に努めている。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

基準 10 社会貢献・地域貢献 【平均評定：3.0】

10-36 (1/1)

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校施設をはじめ、学科教員の知識や技術を社会貢献や地域貢献に活かす。		教育資源を活用した積極的な社会貢献や地域貢献を模索すべき。	
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	海外教育機関との国際交流を図る。	海外教育機関学生による本校の見学を実施。	特になし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	いろんなボランティア活動を学生に経験させて、知見を広める。	各種ボランティアの案内、支援を行っている。	特になし	ボランティアスタッフ募集関係受領文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------